様式第１号

みなし特定公共賃貸住宅入居申込書

申込者	現住所	氏　名	
	電　話 （　　）　　－		

みなし特定公共賃貸住宅に入居する者等	氏　　名	続柄	生年月日	職　業	勤務先の名称・所在地	年間収入
入居者						
同居する親族						
別居扶養親族						

希望団地	第１希望： 第２希望： 第３希望：	備考

所得計算表

１．所得 所得合計　　円	３．公営住宅法に定める収入月額 所得金額　　円 －控除金額　　円 収入年額　　円 収入月額　　円
２．控除額 給与・年金控除額　円×　人＝　円 同居・扶養控除額　円×　人＝　円 老人扶養控除額　円×　人＝　円 特定扶養親族控除額　円×　人＝　円 障害者控除額　円×　人＝　円 特別障害者控除額　円×　人＝　円 老年者控除額　円×　人＝　円 寡婦（夫）控除額　円×　人＝　円 ひとり親控除額　円×　人＝　円 計	４．令和６年度入居収入基準 158,000 円～487,000　円 ５．入居収入基準　適合・不適合 審査者　　㊞

※　太枠の部分に記入してください。

住宅の困窮状況	次に掲げる住宅の困窮状況のうち、該当するものに〇をつけてください。 １．現在住宅以外の建物又は場所に居住している。 ２．保安上危険な住宅や衛生上有害な状態にある住宅に居住している。 ３．他の世帯と同居しているため、著しく生活上の不便がある。 ４．住宅がないため、親族と同居することができない。 ５．住宅の規模、設備又は間取りと世帯構成との関係から衛生上、風紀上又は教育上不適切な居住状況にある。 ６．自己の責によらない理由で、家主、貸し主などから立ち退きを要求され、適当な立ち退き先がない。 ７．住宅がないため、勤務場所から著しく遠隔の地に居住を余儀なくされている。 ８．収入に比べて著しく過大な家賃の支払いを余儀なくされている。 ９．その他（できるだけ具体的にお書きください。） （　　）
現在の住宅の状況	現在居住している住宅の種類 １．借家　２．同居　３．貸間　４．民間アパート　５．賃貸マンション　６．寮 ７．持ち家　８．社宅　９．仮住居　１０．その他（　　）
	現在居住している住宅の間取り
	現在居住している住宅の家賃等
	現在居住している世帯構成

このとおり入居の申込みをします。

この申込みについては、次のことを誓約します。

１．この申込書に記載した事項は、すべて事実に相違ありません。

２．この申込書に偽りの事項があった場合は、公営住宅の入居決定の取消しを受けても異議はありません。

３．この申請書に記入した住宅状況について事実調査をする場合はその調査を妨げ、又は拒絶しません。

４．申込者及び申込者と同居する者は、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律に規定する暴力団員ではありません。

令和　　年　　月　　日

美深町長　　草 野 孝 治　　様

申込者氏名　　㊞

調査確認事項

	当選	当選・落選	受付印
	団地		
	番号		